

山行報告 南会津 小野岳(1,383m)と大戸岳(1,416m)

【日時】 平成28年 11月19日(土)~20日(日)

【山域】 南会津

【参加者】 C L 柘植、S L 鈴木(憲)、澤田(路)、加藤、大木、菌田(記録)

【報告】 今回は天気予報が雨から曇りと芳しくない中、傘をさしても歩ける短時間のハイキングの山で、下山後すぐに大内宿の民宿にかけこめるということで、雨天決行で会津の2つの山に登って来ました。

☆11/19(土) 雨 小野岳 10:25~13:30 (大内宿側の大内登山口から山頂までのピストン)

早朝5時過ぎに京成津田沼を出発する。車中では加藤さんが、今日の山は傘をさしても登れるファミリー向けの山で ①短時間で登れること ②今日は二つ玉低気圧で広範囲に荒天ではあるが低気圧と低気圧の間は天気の良いこともあり、それが丁度福島辺りである事 を解説してくれる。

確かに千葉を発つころにはポツポツと雨が降り始め、白川インターをおりる頃は中降りではあったが、9:30に大内宿に到着すると嘘のように空が明るくなり雨があがってしまった。



扇屋さんの裏口にて



小野岳登山口へ向かう林道

今日の宿の扇屋さんの駐車場に車を停めて10:00ちょうどに大内宿を出発する。県道131号線に入るころには再び雨が降り始め、傘をさして歩くことになった。県道から右の林道に入り大内登山口に到着。本降りの雨に備えて雨具やスパッツをつけ大内登山口を10:25に出発。杉の植林の間を登り20分ほどで小野の泉に着く。水場から少し登ると雑木の林に変わり斜面をトラバースしながら登る。傘をさして登っていて小野岳山頂への道標を見落としてしまった。加藤さんが気付いてくれて道を間違わずに済んだ。小野岳では数日前に捜索隊が出動する遭難騒ぎがあったそうだが、こんなところで迷ったのだろうか?あとは特に迷いそうなところはなく、ブナの林の中を登り12:10に山頂に到着した。山頂は平たんでかなり広く、雨の中ツェルトを張って休憩しているパーティーがいて、その中の1人は澤田路さんの友人だった。私たちは写真撮影をそそくさと済ませてすぐに下山を開始する。落ち葉の下の泥に足を取られ転びながらも無事に13:30に大内登山口に着いた。

ここからはもう観光気分になり、大内宿を見下ろす高台に登り写真を撮ってから扇屋さんへ向かう。夕飯は会津の郷土料理(こづゆ、イワナの塩焼き、馬刺し、菊の酢のもの、そば、など)でとても美味しく、芸人さながらの名物女将さんや他の宿泊客と会話しながら楽しい夜を過ごした。



小野岳山頂



大内宿の全貌



まずは自室で乾杯



夕食は囲炉裏端で

☆11月20日(日)曇り、雨 大戸岳 8:35~14:05 (闇川登山口から山頂までのピストン)
 闇川(くらがわ)の大宮神社前に駐車して8:15から歩き始める。天気は曇り。



闇川の大宮神社前：出発前の雄姿



大戸岳のご案内

少し歩くと大戸岳の標識が出てきて、20分ほど林道を歩いて闇川登山口に着く。登山口から山頂までの標高差は1,000mぐらいで昨日よりは気合が入る。少し登るとまた雨が降ってきて今日もカッパを着ての登山となる。雨でぬかるんでいるが特に危険な箇所もなく尾根道を進み5合目に着く。ここには以前は小屋があったらしいがどこに立っていたのだろうか？跡形もない。その後は右にトラバースしながら

登り、中ツ手清水に着く。更に高度をあげると痩せ尾根に出てその先が風の三郎と言われる岩場になる。木の根やロープを掴みながら慎重に登り 12:15 山頂に到着する。晴れていたら最高の展望だろうな。想像力をたくましくしながら今日も 10 分の休憩後に下山を開始する。下りはさらに滑りやすかったが 14:25 に無事駐車場に到着。帰りは芦ノ牧温泉の日帰り湯で汗を流し、帰葉した。



山頂では雨はあがっていた（が展望なし）



無事下山（怖いクマさんがお出迎え）

藪田富久美（記録）